

# ノーベル賞に3氏



中村修二氏



天野浩・名大教授



赤崎勇・名城大教授

# 赤崎、天野、中村氏 物理学賞青色LED開発

二〇一四年のノーベル物理学賞が七日、赤崎勇・名城大教授(八五)、天野浩・名古屋大教授(五四)、中村修二・米カリフォルニア大サンタバーバラ校教授(六〇)に贈られることが決まった。同賞を選考するスウェーデン王立科学アカデミーが発表した。青色発光ダイオード(LED)の開発が受賞理由。日本人のノーベル賞は二二年に人工多能性幹細胞(iPS細胞)で医学生理学賞を受賞した山中伸弥・京都大教授以来で、日本人受賞者は二十二人ととなった。

赤崎さんは、二十世紀中は不可能と言われた青い光を出すLEDを、窒化ガリウムを用いて、天野さんとともに一九八九年に実現。中村さんは、明るさを増して量産化することに成功した。LEDは、照明に革命をもたらした。